

令和7年度鶴岡市立図書館協議会 次第

日時:令和8年2月19日(木)午前10時

会場:図書館本館 講座室

○委 員

- | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 粕谷 温子委員 | <input type="checkbox"/> 和田 俊江委員 | <input type="checkbox"/> 井上 裕子委員 |
| <input type="checkbox"/> 草島 陽子委員 | <input type="checkbox"/> 佐藤 泰彦委員 | <input type="checkbox"/> 柴田 陵子委員 |
| <input type="checkbox"/> 五十嵐 武委員 | <input type="checkbox"/> 三浦 洋介委員 | <input type="checkbox"/> 本間 積委員 |
| <input type="checkbox"/> 菊池 淳子委員 | <input type="checkbox"/> 上野あやの委員 | <input type="checkbox"/> 長南 敏子委員 |
| <input type="checkbox"/> 鈴木 和子委員 | | |

- 職 員 館長:五十嵐 恭子 館長補佐:今野 章
主査:齋藤 剛志
社会教育課長

1.開 会

2.あいさつ

3.報告・協議

- (1) 令和6年度図書館事業報告
- (2) 令和7年度図書館重点施策と主要事業について
- (3) 新図書館整備事業について
- (4) その他

4.その他

5.閉 会

令和6年度 図書館事業実施状況

(1) 本館

事業名	内容	対象	時期	摘要
館内子どもおはなし会	絵本の読み聞かせ・紙芝居他	幼児・小学生 保護者	毎週水・土曜、 第4水・第2日 曜（乳幼児向）	115回実施 719人参加
夏のおはなし会	絵本の読み聞かせ・紙芝居他	幼児・小学生 保護者	8月4日	64人参加
クリスマス絵本まつり と冬のおはなし会	絵本の展示 絵本の読み聞かせ・紙芝居他	幼児・小学生 保護者	12月	7回実施 152人参加
手づくり絵本・紙芝居 コンクール	親子・祖父母などで手づくり 絵本、紙芝居作り	幼児・小学生 一般	8月募集 9月表彰・展示	応募点数 絵本 63点 紙芝居 8点
児童読書感想文 コンクール	読書週間記念事業	小学生	7月～募集 10月表彰	応募点数 49点
児童読書感想画 コンクール・感想画展	読書週間記念事業	小学生	9月～募集 11月審査会 展示：11月21日 ～24日	応募253点 入場者数 918人
上野甚作賞短歌募集	上野甚作の功績を讃え短歌を 募集、優秀作品の顕彰	一般 小・中・高生	12月募集 3月表彰	小中高403首 一般34首応募
つちだよしはる 紙しばい原画展	『ゴリくん、なにをつくる？』 (童心社) 『へんしん まめまめ』(童心 社) ほか	幼児・小学生 保護者	展示： 10月22日～ 11月4日	入場者359人
図書館ナイトツアー	図書館施設見学・カウンター業 務体験他	小学生・保護者	8月10日、 8月21日	62組 173人参加
小学生のための 図書館講座(自然科学編)	「昆虫の成長・子育て～動画 による虫の観察～」 講師 高嶋 清明 氏	小学生・保護者	7月27日	35人参加
新図書館基本構想策定 に向けた市民からの意 見聴取	①企画懇話会 ②つるおか図書館 ミーティング ③地域ミーティング ④Web アンケート ⑤デジタルプラットフォーム ⑥その他ミーティング アドバイザー 山崎博樹氏（元秋田県立 図書館副館長） ほか	小学生～一般	① 7月22日 11月20日 2月5日 ② 7月31日 9月26日 10月6日 ③ 7月7日 ～11月9日	参加人数 ② 70人 ③ 38人 ④3,544人 ⑤ 44人 ⑥ 330人

事業名	内容	対象	時期	摘要
山形小説家・ライター講座 鶴岡出張講座	作家をめざす人や文学の好きな方を対象にした講座 講師：酒井順子氏 池上冬樹氏	一般	10月5日	68人参加
学校図書館支援員の派遣	学校図書館の支援と連携	小学校・中学校	通年	支援校25校 回数70回
リサイクル本プレゼント	除籍本等のプレゼント	一般	3月1日	
ブックスタート事業への協力	おすすめ絵本読み聞かせの実演	乳児と保護者	通年	

(2) 分館事業

事業名	内容	対象	時期	摘要
おやこ読書会 (藤島分館)	絵本の読み聞かせ、紙芝居他	幼児・小学生 保護者	① 6月8日 ② 9月14日 ③ 12月14日 ④ 3月1日	参加人数 ① 25人 ② 27人 ③ 23人 ④ 17人
おはなし会 (羽黒分館)	絵本の読み聞かせ 紙芝居他	幼児・小学生 保護者	6回	24人参加
昔話を楽しむ会 (楡引分館)	地域に古くから伝わる 昔話の紹介	幼児・小学生 保護者	10回	69人参加
おはなしひろば (楡引分館)	絵本の読み聞かせ 紙芝居他	幼児・小学生 保護者	11回	96人参加
おはなし会 (朝日分館)	絵本の読み聞かせ紙芝居他 ・館内おはなし会 ・なつのおはなし会 ・ふゆのおはなし会	幼児・小学生 保護者	(通年) 9回 7月13日 12月14日	91人参加 33人参加 18人参加
おはなし会 (温海分館)	絵本の読み聞かせ、紙芝居他 ・七夕おはなし会 ・クリスマスおはなし会	幼児・小学生 保護者	7月7日 12月1日	14人参加 15人参加

令和6年度 職場体験・施設見学 受け入れ状況

(1) 職場体験 (インターンシップ)

受入館	実施日	実施校	人数(学年)
	5月15日～16日	鶴岡第二中学校	2人(2年)
	7月2日～4日	庄内農業高等学校	2人(2年)
	7月23日～25日	鶴岡中央高等学校	2人(2年)
	10月2日～4日	羽黒高等学校	1人(2年)

(2) 施設見学

受入館	実施日	実施団体	人数(学年)
本館	5月29日	渡前小学校	11人(3年)
	5月28日	朝暘第六小学校	86人(2年)
	5月31日		
	6月7日	南部保育園	15人(園児)
	6月13日		
	6月20日		
	6月19日	広瀬小学校	27人(1年)
	6月19日	斎小学校	21人(2年)
	6月21日	豊浦小学校	14人(1年)
	6月21日	大宝幼稚園	31人(園児)
	7月3日	大泉小学校	22人(2年)
	7月4日	朝暘第三小学校	19人(2年)
	8月30日	朝暘第四小学校	30人(特別支援学級)
	9月18日	大宝幼稚園	34人(園児)
	11月28日	やまのこ保育園	18人(園児)
	1月9日		24人(園児)
	藤島	6月18日	藤島小学校
	11月1日	渡前小学校	3人(2年)
羽黒	7月19日	羽黒小学校	10人(2年)
櫛引	11月6日	櫛引西小学校	35人(2年)
温海	5月22日	宮城教育大学附属中学校	4人(2年)
	7月24日	あつみ小学校	18人(2年)

*人数は引率教員も含む

令和7年度主要事業の概要と成果・課題 (案)

図書館

事業概要	成果・課題
<p>1. 図書館本館整備事業</p> <p>(1) 図書館整備事業基本構想の策定 (2/19～3/12 パブリックコメント実施)</p> <p>(2) つるおか新図書館基本構想企画懇話会の実施 (7/22・11/20・2/5 計3回)</p> <p>(3) 図書館ミーティングの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 (7/31 参加者 30人) テーマ「あなたにとって良い図書館とは」 ・第2回 (9/26 参加者 22人) テーマ「あなたは図書館で何をしたいですか」 ・第3回 (10/6 参加者 18人) テーマ「まちの誇りにつながる郷土資料の使い方は？」 <p>(4) デジタルプラットフォーム (DPF) 開設 (参加者 44人 投稿数 31件)</p> <p>(5) アンケート調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生と保護者向け (WEB) 1,373人 ・中学生以上の市民向け (WEB) 2,171人 <p>(6) 分館ミーティングの開催 (各分館にて開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤島分館 (9/14 参加者 12人) ・羽黒分館 (9/21 参加者 3人) ・櫛引分館 (10/19 参加者 9人) ・朝日分館 (11/9 参加者 5人) ・温海分館 (7/7 参加者 9人) <p>(7) 対象別ヒアリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ①移住者交流会 (6/21 参加者 14人) ②図書館ナイトツアー作品募集 テーマ「こんな図書館があったらいいな」 (8/10・8/21 参加者計 173人) ③子ども読書を支える会 (7/20 14人) ④学校司書研修会 (9/24 21人) ⑤こども会議 (7/31～8/8 8人) ⑥鶴岡中央高等学校 (11/19 97人) <p>(8) 図書館リレー企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ①第1弾 (2/21～3/23 開催) テーマ「鶴岡市の食文化」 ・特集コーナー (2/21～3/23) ・鶴岡雛菓子作り体験 (3/23 75人) 	<p>1.</p> <p>(1) 本館の改築に向けて、市民対話を重ね、新たな図書館の理念や基本方針をとりまとめた。</p> <p>(2) 基本構想の策定に向けて、専門的な視点や市民の幅広い視点からの意見を聴取することができた。</p> <p>(3) グループワークで自由に発言してもらい、幅広い年代の様々な立場の方から意見を聞くことができた。また、グループ内での対話の中で、図書館への関心を高めることができた。</p> <p>(4) 対面で行う図書館ミーティング等の機会のほか、時間や場所にとらわれずデジタルな空間で、多くの方から意見やアイデアをもらう場を開設した。多様な意見が投稿されており、今後も周知とより一層活発な意見交換の場となるような運用の検討を進めていきたい。</p> <p>(5) 学校や市民の方の協力を得て、多くの意見を収集できた。基本構想に反映させるとともに、今後の図書館運営にもつなげていきたい。</p> <p>(6) 分館地域ごとにも意見をお聞きする機会を設け、本館の新館整備とそれぞれの分館への思いを共有し合う機会となった。</p> <p>(7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①移住者の方に図書館を知ってもらう機会となり、移住者という視点から、他市町村と比較しての意見等を聞くことができた。 ②テーマについて、キャッチフレーズ、作文、絵など、自由に思い描く図書館を考えてもらい、子どもたちにも図書館への興味関心を高めることができた。 ③④講座などで、子どもの読書推進に関わる方の意見を聞くことができた。 ⑤子育て推進課の事業で気軽に集うことができる、理想の居場所について、子どもたちの考えを発表してもらい、自由な発想で図書館についての意見を聞くことができた。 ⑥学校からの協力を得て、図書館をテーマとしたグループワークを行い、暮らしているまちの未来について、意見交換をすることができた。

2. 図書館サービスの充実

(1) 本館・分館の連携による図書館サービスの充実

- ・週4日の本の図書館間搬送
- ・企画図書展示の実施
- ・図書館・郷土資料館だより「やまびこ」の発行
(毎月1回)

(2) 自動車文庫「やまびこ号」による移動図書館貸出

- ・月12日稼働で53か所を巡回

(3) 図書館システムによる蔵書管理と資料提供の充実

(4) レファレンスサービスの充実

(5) ホームページの充実による図書館情報の発信

- ・新図書館整備事業の周知
- ・児童室情報紙「シャワー」、図書館・郷土資料館だより「やまびこ」のホームページ掲載
- ・イベント情報の掲載
- ・各種申請書のダウンロード

(6) ボランティア団体の育成と協同事業の実施

- ・児童室情報紙「シャワー」の発行
おはなしボランティアの協力によるおたよりの発行(隔月1回)
～掲載内容～
 - ・「ポケットの穴」
 - ・「子ども室の本棚から」
 - ・「てあそび・わらべうた」
 - ・作家紹介 等

3. 市民の読書活動の推進

(1) 市民の学習ニーズ等に応える図書資料の収集・充実

- ・青春の煌き文庫(ヤングアダルト)の充実

(2) 対面朗読ボランティア派遣事業

- ・館内朗読 3月まで 2回

(3) 市民の読書活動推進事業の実施

- ・山形小説家・ライター講座 出張講座
講師 酒井順子氏、池上冬樹氏
(10/5開催)参加者 68名
- ・第66回上野甚作賞短歌の募集
応募数：小・中・高生 403首
一般 34首
- ・関連図書の展示
大人のための読書推進のために、各種テーマに関連する図書を書架上に展示
- ・リサイクル本プレゼント
3/1開催

(4) 施設、サークル等への団体貸出の実施

(26,810冊)

(5) 郷土出身作家コーナーの充実

(8) 新図書館整備に向け、図書館を自分の居場所や交流の場として感じてもらえる機会となった。第1弾では、鶴岡市の食文化に関する関連書籍の展示と、「鶴岡雛菓子作り体験」を開催し、図書館と食文化への関心を高めることができた。

2.

(1) 企画図書展示は、本館では毎月、分館では一定期間を設け、テーマを決めて行っており、選本の一助となっている。

本館では、通常の展示場所だけでなく、時々話題を取り上げるトピック展示も実施しており、関係各課との連携展示なども実施している。今後も、情報発信施設としての役割を担えるような展示を実施していきたい。

(3) 図書館システムの更新を実施した。図書検索ページで書影の表示や、個人利用ページから貸出期間延長ができるようになるなど、利便性が高まった。

(5) 市のホームページ内に図書館ホームページを移設した。

新着情報のアップが可能となり、迅速に情報を届けられるようになった。

3.

(3) 今年度は講師の酒井氏に合わせ、エッセイ限定で作品募集を行った。小説よりも気軽に取り組めるジャンルであるのか、例年より多い17点の応募があり、読むだけでなく創作する楽しみも味わっていただけた。

4. 子どもの読書活動の推進

(1) 第2次鶴岡市子ども読書活動推進計画の推進 及び第3次計画の策定

- ・啓発資料パンフレットによる啓発

(2) 子どもの読書推進事業の実施

- ・ボランティア団体協力のもと各館でのおはなし会の実施。(数値は2025.12月末時点)

【本館】・館内おはなし会 毎週水曜日 16:00～

毎週土曜日 15:00～

第2日曜日・第4水曜日 11:00～

(実施回数 94回 参加者 630人)

- ・夏のおはなし会

8/3 (参加者 94人)

- ・クリスマス絵本まつり 12/2～25

- ・冬のおはなし会

12/7 (参加者 95人)

【藤島】・親子読書会 第1回 (6/14 参加者 20人)

第2回 (9/13 参加者 21人)

第3回 (12/6 参加者 13人)

【羽黒】・館内おはなし会 奇数月第3土曜日

(4回 参加者 15人)

【榎引】・おはなしひろば 第3土曜日

(9回 参加者 66人)

- ・昔話を楽しむ会 第2土曜日

(8回 参加者 11人)

【朝日】・館内おはなし会 第2土曜日

(6回 参加者 80人)

- ・なつのおはなし会

(7/12 参加者 32名)

- ・ふゆのおはなし会

(12/13 参加者 31名)

【温海】・七夕おはなし会 (7/6 参加者 16人)

- ・お月見おはなし会 (10/5 参加者 7人)

- ・クリスマスおはなし会

(12/7 参加者 16人)

- ・つちだよしはる氏 紙しばい原画展

(10/21～11/3 493人)

- ・小学生のための図書館講座 ～自然科学～

「昆虫の成長・子育て～動画による虫の観察～」

講師 昆虫写真家 高嶋清明氏 (7/27 35人)

- ・「図書館ナイトツアー」

(8/5.8/8 参加者 33組 82人)

(3) 学校との連携による子ども読書活動の推進

- ・各種コンクールの実施

読書感想文：応募数 49点(10/13表彰式)

読書感想文集の発行(2月刊行)

読書感想画：応募数 253点(11/24表彰式)

感想画展の開催(11/21～11/24)

手作り絵本、紙芝居 (9/22表彰式)

応募数 絵本 63点、紙芝居 8点

- ・学校図書館支援員派遣による学校図書館の支援と連携
支援校 25校 延べ回数 70回

4.

(2) イベント型の大きなおはなし会は、多くの方から参加していただくことができ、特に乳幼児の親子の参加が目立った。初めて参加された方も多く、お話に触れるきっかけの機会となった。

また、昨年に引き続きえほんまつりビンゴや、持ち帰り用クラブのプレゼント、冬のラッピングブック企画等は好評で、本の楽しさを伝えることができた。

・「図書館ナイトツアー」は、本紹介の時間を設け、宿題としたお気に入りの一冊のPOPを使いながら本を紹介し合い、新しい本との出会いの機会を提供できた。

(3) ※コメントは次ページから

・職場体験は、コロナ禍以降、高校生のみだったが、令和6年度については、中学校からの希望があり、実施した。

- ・図書館見学の受け入れ
小学校 7校
見学者 128人
- ・職場体験・インターンシップ
高等学校 3校 5人 中学校 1校 2名

(4) 保育園、幼稚園、その他子どもの各読書活動推進団体との連携・協力

- ・研修会・講座等での出張貸出
京田親子読書会 夜間貸出
6/23.9/15
藤島庁舎家庭教育支援講座
「きらきら親子教室」出張貸出 3/2

- ・子育て講演会への職員の派遣 9/26 にこふる
子育ての講座「絵本といっしょ」

(5) 子どもの読書活動に対する理解啓発と情報発信

- ・ブックスタート事業への協力
乳児7ヶ月健診時に実施
読み聞かせを通じた親子のふれあいの推進、読み聞かせの実演、絵本を贈呈。
- ・乳幼児向けのおすすめ絵本パンフレットの啓発

5. 郷土への理解と地域文化の振興

(1) 郷土史の調査・研究のための史料の収集と整理活用

- ・企画展
「近世庄内の旅人 全国諸街道を闊歩する展」
(R6/1/25～5/19 94人)
「真嶋雄之助と佐藤与之助展」
(7/26～10/6 115人)
「『ワッパ騒動』とその時代展」
(R6/11/20～R7/1/19 209人)
「庄内自然史博物館」(山形県立博物館)
(1/25～3/23 600人)

(2) 地域の情報拠点としての事業の推進

- ・歴史講演会
講師 畑山周平氏(東京大学史料編纂所助教)
「戦国時代の地域権力論ー出羽庄内・大宝寺義興の事例からー」(3/8開催 54人)

(3) 貴重資料・劣化資料の整理促進と保存活用のための子化促進

(4) 古文書読解講座、郷土関連の講座等の実施

- ・古文書読解講座
講師 今野章郷土資料館館長補佐
(1/25.2/1 2回開催 48名)
- ・郷土史講座
講師 菅原義勝氏(致道博物館学芸員)
「大宝寺義興と東禅寺氏永の抗争と和平交渉ー『庄内問題』を考えるー」(3/15開催 58人)

(4) 育児・子育て講座の機会に図書館を利用するきっかけを提供することができ、その後の読書活動につなげる良い機会となっている。さらに出張貸出事業について周知を図り、活動を広めていく必要がある。

(1) 「真嶋雄之助と佐藤与之助展」は、遊佐町や勝海舟記念館から借用した史料も展示し、江戸で活躍した遊佐町出身の人物を広く紹介することができた。「『ワッパ騒動』とその時代展」では、致道博物館と同テーマ同時期開催というコラボ企画を試み、好評を得た。「庄内自然史博物館」は、山形県立博物館の資料を庄内で紹介する初めての機会となった。

(4) 今回の古文書読解講座については、1回目は史料の解説、2回目はその史料の内容を詳細に解説するという、解説講座と歴史講座が合わさった形式を試みた。

事業予算の推移 (当初予算)

(単位：千円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
報酬	107	107	107
報償費	456	722	1,117
旅費	217	471	1,185
需用費	12,906	13,300	12,493
消耗品費	2,882	2,848	2,845
燃料費	1,998	2,322	2,206
食糧費	24	19	50
印刷製本費	801	794	880
光熱水費	6,168	6,748	5,187
修繕費	1,033	569	1,325
役務費	595	557	1,026
通信運搬費	537	528	955
手数料	58	29	71
委託料	6,596	11,675	32,758
使用料及び賃借料	3,592	7,145	10,585
工事請負費	21,400	0	0
備品購入費	15,200	15,460	15,200
負担金補助及び交付金	71	68	128
総額	61,140	49,505	74,599

令和7年度 移動図書館巡回場所

学区及び地域	巡回場所	場所数
第一学区	第一学区CC、城南幼保園	2
第二学区	第二学区学童保育所、鈴の音保育園、東部保育園	3
第三学区	ケアハウス鶴ヶ丘、シニアサポートともえ、マリア幼稚園 ちわら菜の花こども園、第三学区学童保育所、サテライト池幸	6
第四学区	稲生町公民館、南部保育園、第四学区学童保育所	3
第五学区	松原保育園、道形保育園	2
斎	和光幼稚園	1
黄金	黄金小学校、黄金保育園、民田保育園	3
湯田川	湯田川CC保育園、JA鶴岡湯田川	2
大泉	大泉保育園、大泉学童保育所、大泉小学校	3
京田	京田学童保育所、京田CC、ほなみ保育園	3
栄	栄CC、栄保育園	2
田川	中組公民館、田川保育園	2
上郷	上郷CC	1
三瀬	三瀬CC、豊浦小学校、三瀬保育園	3
小堅	小堅CC、小波渡（旧小堅CC）	2
加茂	多機能かも、油戸公民館	2
由良		0
湯野浜	湯野浜CC、しおん荘	2
大山	大山CC、特別養護老人施設おおやま、思恩園、大山保育園	4
西郷	西郷農村活性化センター、西郷小学校	2
藤島	東栄小学校、渡前小学校、藤島児童館（ふれあいセンター）	3
羽黒	手向地区地域活動センター、大東保育園、貴船保育園 瑞穂の郷	4
櫛引	くしびき西部保育園、櫛引南小学校、櫛引西学童保育所	3
朝日	朝日保育園	1
温海	鼠ヶ関小学校、あつみ小学校、鼠ヶ関保育園 温海温泉林業センター	4
合計		63

図書館協議会で議論になった課題について

・移動図書館車の更新について → 検討中

検討事項 1, 現状規模の車両が必要か。(車の仕様を決めないと見積もれない。)



2, 事務局としては必要と考えている。



3, 規模を縮小しても人手は同じ。シンボリックな車体でPR効果あり。

・移動図書館の有効利用について

対応 保育園、幼稚園、学童保育所（特に夏休み）に、もっと利用してもらえるように意向調査を行い、新たに保育園・幼稚園10カ所、学童保育所3カ所を巡回箇所に加えました。生徒だけでなく、先生方からのリクエスト本への対応もしております。

・おはなし会等の事業をコロナ禍前に近づける

対応 温海分館で、絵本読み聞かせ隊「ポツケ」さんで、お月見おはなし会を開催しました。また、冬のおはなし会を本館の講座室で開催しました。共にもコロナ禍後初です。

・図書館の居場所としての活用

対応 高齢者等の涼み場所の一つとして、市ホームページへ掲載しております。

また、令和6年末にWi-Fi環境を整えて、通信手段も光通信に変え、本だけでなく、動画の利用もスムーズに出来るようになり、学習面だけでなく、多様な利用が可能となっております。

例えば、学生のリモート学習やスキルアップ講座の受講などにも、利用可能な土台作りができたものと考えます。

鶴岡市立図書館協議会委員名簿

任期：令和7年9月1日から令和9年8月1日

No.	区別	氏名	役職等	区分*	新規/ 再任	備考
1	鶴岡	粕谷 温子	小学校長会（朝暘第二小学校長）	1号	再任	
2	鶴岡	和田 俊江	朗読ボランティア・わらしべの会会員	2号	再任	
3	鶴岡	井上 裕子	おはなしポケット会長	2号	再任	
4	鶴岡	草島 陽子	社会教育委員	1号	再任	
5	鶴岡	佐藤 泰彦	中央公民館サークル連絡会会長	1号	新規	
6	鶴岡	柴田 陵子	学識経験者	3号	新規	
7	鶴岡	五十嵐 武	学識経験者	3号	再任	
8	鶴岡	三浦 洋介	学識経験者	3号	再任	
9	藤島	本間 積	学識経験者	3号	再任	
10	羽黒	菊池 淳子	社会教育関係者	1号	新規	
11	楡引	上野 あやの	社会教育関係者	1号	新規	
12	朝日	長南 敏子	あさひ読み聞かせの会会長	2号	新規	
13	温海	鈴木 和子	温海絵本読み聞かせ隊「ポッケ」代表	2号	再任	

※鶴岡市立図書館設置条例

（図書館協議会）

第5条 法第14条第1項の規定により、図書館に鶴岡市立図書館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員の定数は、15人以内とし、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育又は社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験者

『鶴岡市史 現代編(上巻)』

発刊記念トークイベント

3/20 (金・祝) 13:30~15:30

令和7年度の市制施行20周年を記念し、『鶴岡市史 現代編(上巻)』を発刊します。上巻は、終戦から昭和48年までの鶴岡市の出来事をまとめています。

発刊を記念して執筆者によるトークイベントを開催します。

- ・会 場 鶴岡市立図書館 2階講座室
- ・登壇者 鶴岡市史編さん委員 4名
(本間勝喜氏、阿部博行氏、
秋保良氏、升川繁敏氏)
- ・対 象 どなたでも参加可能
- ・定 員 先着60名
- ・参加費 無料
- ・申 込 2月19日(木)~3月19日(木)

①申込フォーム または ②お電話

【申込・問合せ】鶴岡市立図書館 (鶴岡市家中新町14-7)

TEL: 25-2525 / 火~日曜 9:30-17:00



申込フォームは
こちら→



関連展示

~市史・史料集 発刊の歴史~

期 間 2月19日(木)~4月12日(日)

会 場 鶴岡市立図書館 1階

主催：鶴岡市、鶴岡市教育委員会

概要版 第3次鶴岡市子ども読書活動推進計画(案)

令和8年度～

子どもが過ごす家庭、学校、地域などのあらゆる場所に本があり、年齢に応じた多様な本との出会いが生まれることは、子どもたちの心の豊かさや主体的な学びを育みます。大人がその意義を理解し、子どもに寄り添いながらその読書活動を温かく見守ることで、子どもには読書が身近なものとなります。

本計画は、家庭、学校、地域などが連携し、本に触れ楽しさを知るきっかけを広げるとともに、読書環境の整備を通して、生涯にわたる学びへとつながる子どもの読書活動を推進することを目指しています。

計画の対象 0歳から18歳まで

※読書活動の推進については、大人を含むすべての市民を対象とします

目指す子どもの読書活動の姿

「本といっしょ」

読書の楽しさを知ることによって言葉を育み、主体的に考え豊かに表現する子ども

基本方針〈3本の柱〉

子どもの近くに本がある暮らし

子どもの視点に立った取組みの実施や、学校図書館の充実等により、身近に本がある環境の中で、自然と本に触れ合い、読書の習慣化を目指します。

子どもの近くに本の渡し手がいる暮らし

身近にいる人々の協力により様々な場面で子どもが本に興味を持つきっかけづくりを行い、自主的に本に親しむ環境をつくります。

子どもの近くに読書活動を見守る人がいる暮らし

子どもたちを取り巻く環境の変化にも対応しながら、読書環境を確保し活動を見守ります。また、多様な子どもたちに適応した読書環境を整備します。

数値目標

児童図書蔵書冊数

(15歳以下1人あたり)

10冊以上
(R6 8.6冊)

児童図書年間貸出冊数

(15歳以下1人あたり)

14冊以上
(R6 11.7冊)

学校への団体貸出冊数

(1学級あたり)

15冊以上
(R6 12冊)

ブックスタート事業による効果

「読み聞かせをするきっかけとなった」

60% ※1
(R6 56.8%)

保育園幼稚園への団体貸出冊数

(入園者1人あたり)

4冊以上
(R6 3冊)

子どもの不読率

(1ヶ月に1冊も本を読まない割合)

※2
小学生2%以下
中学生8%以下
高校生26%以下

※1 アンケートにおいて「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した割合
※2 国の第4次計画で示された目標数値を本市でも目標とします

R6(全国の結果)
小学生8.5%
中学生23.4%
高校生48.3%

参考数値

学校図書館での貸出年間冊数
[市内小学校・中学校]
(生徒1人あたり)

令和6年度実績

〈小学校〉1年生:163.9冊 2年生:189.2冊 3年生:135.5冊
4年生:114.3冊 5年生: 88.6冊 6年生: 86.3冊

〈中学校〉1年生: 29.6冊 2年生: 25.3冊 3年生: 17.2冊

年代別

子どもの読書活動推進のための取り組み

プレママ・
パパ

子どもが生まれる前から、読み聞かせや本に触れる大切さを伝え読書活動を支援します。

○母子手帳交付時リーフレット配布

0・1・2
歳児

“たねまき”の時期であり、五感で本の楽しさを感じる機会を提供します。

○ブックスタートの実施 ○乳幼児検診会場への絵本コーナーの設置
○子育て応援ギフト事業(R6年度～)

3・4・5
歳児

周りの大人が積極的に関わり本と親しむ環境をつくることを支援します。

○保育園・認定こども園での絵本コーナーの設置 ○おはなし会の実施

小学生

絵本から児童書へ移行し読む本の幅が広がる時期です。

身近な大人が本の渡し手となりきっかけを与える取り組みを行います。

○学校図書館を活用した授業の実施○図書館リレー企画の実施(R6年度～)

中学生

読書離れが加速する時期です。

本に触れることを習慣づける働きかけを行います。

○YAコーナーの充実 ○文芸創作の芽を育む事業の実施検討

高校生

同年代での情報共有が有効です。自習を目的とした図書館の利用が多く見られますが、本への関心につながるような情報提供を継続して行います。

○市立図書館と高校図書委員会の連携

○市立図書館での読書や自習のための環境・居場所の提供

大人に
なっても

多様なニーズに応え、子どもに関わる大人も図書館が過ごしやすい居場所を目指すとともに、読書活動を支援します。

○市立図書館と他部署との連携展示

○市立図書館の新たな利用者開拓に向けた事業の実施検討



ブックスタート
(7カ月児健診時絵本のプレゼント)



市立図書館ナイトツアー
(図書館の楽しさを体験)



市立図書館と他部署との連携展示
(図書館リレー企画“雑菓子作り”)

計画推進のために

①関係機関・施設の連携と情報共有

関係機関への団体貸出の活用促進や、他部署との連携強化、情報共有により一層の読書活動の推進を図ります。

②広報啓発

子どもに関わる全ての市民の理解や関心を深めるため、大人向けの事業も充実させ啓発に努めます。

③推進体制の整備

情報を共有しながら計画と取り組みの進捗状況を確認し、一層の推進のため見直しを随時行うなど、効果的な推進を目指していきます。

読書バリアフリー

2019年6月「読書バリアフリー法」成立

障害の有無に関わらず全ての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられるようにするための法律

～今後の図書館での取り組み～

障害や多言語等に配慮した資料の提供に努めます

館内での貸出のほか、学校や施設等への団体貸出も積極的に行います